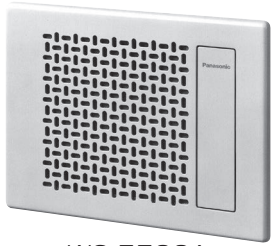


## 取扱説明書

工事説明付き

壁埋込スピーカー

品番 **WS-5500A**  
**WS-5505A**



WS-5500A



WS-5505A

### 保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

パナソニック コネクト株式会社

パナソニック  
エンターテインメント & コミュニケーション株式会社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号  
電話 フリーダイヤル 0120-878-410

© Panasonic Entertainment & Communication Co., Ltd. 2024

3TR003729JBA  
meJ0405-8034  
Printed in China

## 保証とアフターサービス よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い求め先へ ご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名  
電 話 (       )       -  
お買い上げ日       年       月       日

修理を依頼されるときは  
異常があるときは、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

- 製品名 壁埋込スピーカー
- 品 番 WS-5500A、WS-5505A
- 故障の状況 できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

**技術料** 診断・修理・調整・点検などの費用

**部品代** 部品および補助材料代

**出張料** 技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 **7年**

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後7年保有しています。

アフターサービスについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または保証書表面に記載されています連絡先へお問い合わせください。

## 1. 商品概要

- 本機は、3個用埋込みスイッチボックス用の小型壁埋込スピーカーです。  
必ず3個用埋込みスイッチボックス（別途調達）をご使用ください。
- ワンタッチ端子の採用により、結線工事が容易です。  
適用線種………単 線：Φ0.8～Φ1.2  
より線：AWG#20～AWG#16
- WS-5505Aは、アッテネーター付きで音量調節ができます。

## 2. 付属品をご確認ください

取付ねじ（M4×35）……………4本      取扱説明書（本書）……………1冊  
保証書 ……………1式

## 3. 安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

**警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

**注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

**禁止** してはいけない内容です。

**注意** 実行しなければならない内容です。

## 警告

**工事は販売店に依頼する**  
工事には技術と経験が必要です。けが、器物破壊の原因となります。  
**異常があるときは、すぐ使用をやめる**  
煙が出る、臭いがする、水や異物が入った、落として破損したなど、火災の原因となります。  
● ただちに電源を切り、販売店にご連絡ください。  
**配線は正しく行う**  
ショートや誤配線により、火災の原因となります。  
**定期的に点検する**  
取付部が劣化すると、落下などでけがの原因となります。  
● 点検は販売店にご連絡ください。  
**重量に耐える場所に取り付ける**  
取付場所の強度が不十分のとき、落下などでけがの原因となります。  
● 取付工事は販売店に依頼してください。

**塩害や腐食性ガスの発生する場所に設置しない**  
取付部が劣化し、落下などの事故の原因となります。  
**湿気やほこりの多い所に設置しない**  
火災の原因となります。  
**可燃性ガスの中で使用しない**  
爆発の恐れがあります。  
**過大入力を加えない**  
火災や故障の原因となります。  
**振動する場所に取り付けない**  
振動で金具が破損し、落下によりけがの原因となります。  
● 取付工事は販売店に依頼してください。

**分解しない、改造しない**  
火災やけがの原因となります。  
● 修理や点検は、販売店にご連絡ください。

## 注意

**配線はアンプの電源を切ってから行う** 頼する  
感電の原因となります。  
**スピーカーの近くに人がいないことを確認する**  
突然大きな音を出すと、けがや事故の原因になります。また、耳の近くで過大な音を出すと難聴の原因になります。

**磁気テープなどを近づけない**  
テープやフロッピーディスク、MDなど磁気記録メディアを近づけると情報が消えます。  
**金属のエッジで手をこすらない**  
けがの原因となります。

# 4.取り付けかた

## 警告

- 本体の不良による落下事故以外の、取り付け方法の不備などによる落下事故に対する責任は一切弊社は負いかねますので、取り付け場所や取り付け方法の設計は十分な注意をお願いします。強度が不足の場合は、十分な補強をし、安全を確認して取り付けてください。
- 設置工事は、専門の工事店に依頼してください。
- 安全のため充分な落下防止対策を施し、必ず定期的に保守点検を実施してください。
- 必ず、アンプの電源を切ってから設置・接続を行ってください。

## 1 スイッチボックスを壁に埋め込む

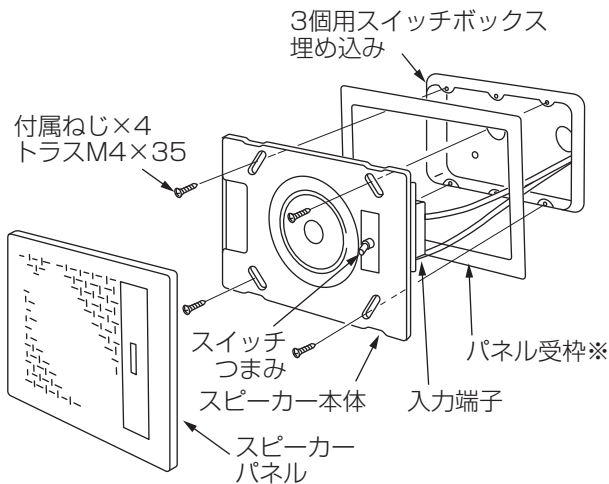
スイッチボックスは、壁面から3 mm～30 mmの間で埋め込みます。  
● スイッチボックスの説明書を合わせてよくお読みください。

## 2 スピーカー入力線を接続する

スピーカーラインにスピーカー本体の入力線を接続（接続のしかた 参照）します。  
※パネル受枠に入力線を通して結線してください。

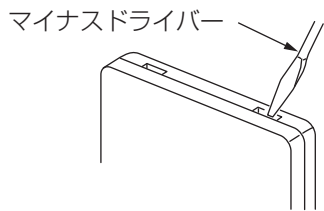
## 3 スピーカー本体を設置する

スイッチボックスに、パネル受枠とスピーカー本体を合わせて、取付ねじ（付属品）4本で取り付けます。  
● 締付トルク：1 N・m（10 kgf・cm）



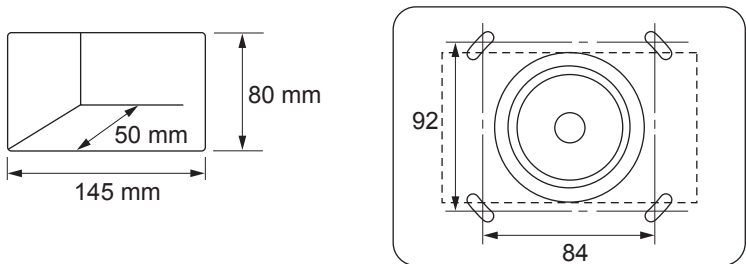
## 4 スピーカーパネルを取り付ける

パネル受枠に合わせて押し込みます。  
● 取り外すときは、パネル受枠の切り込み部にマイナスドライバー（中）を差し込みます。



## ■ スイッチボックスの埋込み工事ができない場合

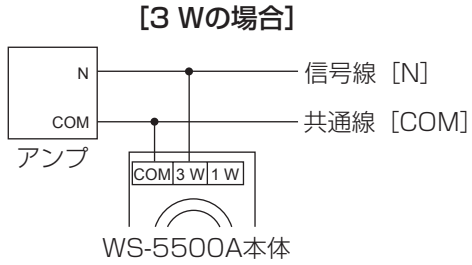
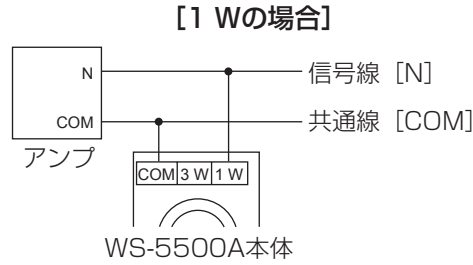
どうしても3個用スイッチボックスの埋込工事ができない場合は、下図のように壁に穴加工してください。  
● スピーカー本体の壁面への取り付けは、壁面材質に合った方法で、スピーカー本体取付穴を利用して取り付けてください。



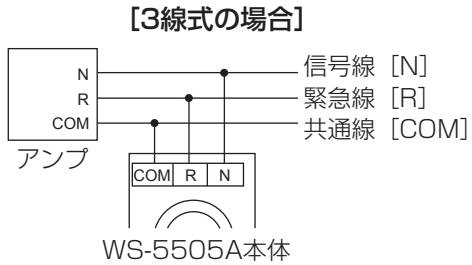
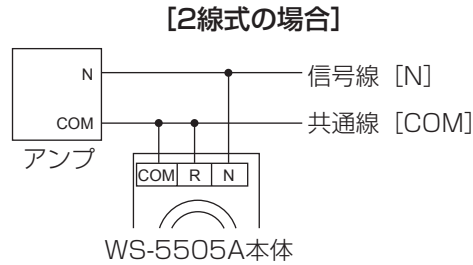
# 5.接続のしかた

## ■ 配線のしかた

### ● WS-5500A



### ● WS-5505A

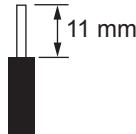


## ■ 結線のしかた

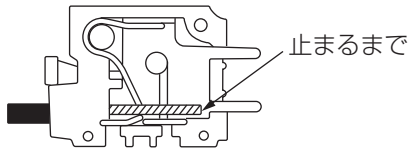
### ① 電線被ふくを切り取ります。

適用電線

- ・ 単 線：φ0.8～φ1.2Cu（銅）線材
- ・ より線：AWG#20～AWG#16

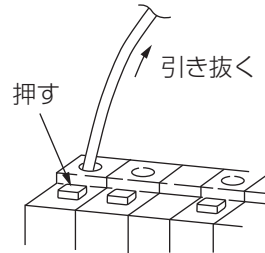


### ② ボタンを押して芯線が止まるまで、確実に奥まで差し込みます。



### ● はずしかた

入力端子のボタンを押しながら入力線を引き抜きます。



# 6.仕様

形式	壁埋込式
入力インピーダンス	3.3 kΩ（ただし、WS-5500Aは10 kΩ端子付）
定格入力	3 W
種別 <sup>*1</sup>	L級（ただし、WS-5500Aは10 kΩ時 M級）
指向特性区分 <sup>*2</sup>	W
音響パワーレベル <sup>*2</sup>	89 dB（1 W）
出力音圧レベル <sup>*3</sup>	91 dB（1 m / 3 W）
周波数特性	150 Hz～18 kHz（偏差20 dB）
使用スピーカー	8 cmフルレンジコーンスピーカー
アッテネーター（音量調節器）	3：0 dB、2：-6 dB、1：-12 dB、OFF：-∞（WS-5505Aのみ）
使用温度範囲	-10℃～+50℃
寸法	幅162 mm 高さ120 mm 埋込部奥行き40 mm
質量	約0.6 kg
仕上げ	ABS樹脂 OAアイボリー

※1：種別とは、消防法で規定された音声警報「第2シグナル」を音源として、無響室にて得られる音圧（ピーク値）により定められています。

※2：指向特性区分および音響パワーレベルは、消防法の規定により測定された区分および値を用いています。

※3：出力音圧レベルは、JISで定められた値で、音声警報「第2シグナル」の値とは異なります。